

## 平成 27 年度第 2 回半田市図書館協議会議事録

開催日時	平成 27 年 8 月 26 日 (水)	14 時 00 分～ 16 時 20 分
開催場所	図書館第 3 会議室	
会議次第	<b>【議題】</b> (1) 子ども読書活動推進計画について (アンケート結果等) (2) 魅力ある図書館づくりについて (諮問) (3) その他	
出席委員：9 名出席 (欠席委員：1 名欠席)	(委員) 前田佳男、本美信一、新海伸誓、山本幸夫、 渥美隆、山田雅子、畑野園江、鈴木仁美、 榎本悦子 (藤村敏子) <span style="float: right;">※敬称略</span>	
事務局	図書館長 間瀬直人、亀崎図書館長 榊原雅子 副主幹 石川稔、戸田豊志、田村元成 書記 水野理絵	
その他出席職員	教育長 加来 正晴、教育部長 小坂和正	
次 第	議 事 概 要	
事務局	ただいまより、平成 27 年度第 2 回図書館協議会を開催します。 本日は、10 名中 9 名の委員の出席をいただいております。過半数の出席をいただきましたので、図書館条例施行規則第 20 条第 2 項の規定により、会議は成立しております。	
事務局	続きます、教育長よりご挨拶申し上げます。	
<b>【あいさつ】</b>	(教育長) 報道などで、ご存じと思いますが「全国学力学習状況調査」の結果が公表されました。 その中で読書に関するデータを見ると半田市は、「本が好き」、「一日一時間以上読書をする」、「週に一回以上図書館に行く」など読書に関する項目で全国平均を上回る結果が出ており、みなさまの読書推進活動の結果であると思っています。また、「将来の夢を持っていますか」という設問にも「はい」の割合が高いことは、たいへん喜ばしいことです。	

	<p>本日は、忌憚のないご意見をお願いいたします。</p>
<p>【議題】(1) 子ども読書活動推進計画について (アンケート結果等)</p>	<p>(会長) では、議題に沿って進めていきます。 (事務局) 子ども読書活動推進計画について説明いたします。 今回の計画の改定にあたり、現状を把握するためアンケート調査を行いましたのでその結果について特に注目すべき点を報告いたします。 【以下、資料「平成 27 年度半田市子ども読書活動推進計画「アンケート集計結果」」により説明】 以上で、アンケート結果の報告を終わります。 (会長) 学校では、どのような読書活動が行われていますか。 (委員) 朝の読書タイムなどが多いです。 (教育長) その他、図書委員などが企画する読書クイズや図書館まつりの実施などです。 (委員) アンケートは、図書館で実施したもので、本や読書に興味のある人の回答が多いように感じましたが、「図書館に来たことがない人」にどのように対応していくかが今後の課題ではないでしょうか。 (事務局) このアンケートの結果に基づいて、計画の見直し案を作り、第3回協議会の開催までに委員の方に配布しますのでよろしくお願いいたします。</p>
<p>【議題】(2) 魅力ある図書館づくりについて (諮問)</p>	<p>(館長) 諮問事項の「魅力ある図書館づくりについて」の諮問を行うに至った理由とこれまでの図書館のあゆみと現状について説明いたします。 【以下、資料「半田市立図書館のあゆみと現状について」により説明】 魅力ある図書館づくりについての具体的方策をひとつずつ説明いたしますので、ご意見をお願いいたします。 (会長) では、一番目の休館日及び開館時間の見直しについてです。 (事務局) この件について説明いたします。 【以下、資料「魅力ある図書館をめざして〈1〉」</p>

により説明】

(会長) みなさん休館日の見直しについてはいかがですか。

(委員) 人件費については、どうなっていますか。

(館長) 9時からの開館については、早番と遅番のずらし勤務で対応するので現在よりも業務が大変になりますが、現在の人員で行っていきます。第2火曜日の開館については、1名弱の臨時職員の増員が必要と思われま。

(委員) 開館日などの拡大は、市民サービスとして大切なことであると思いますが、働く環境が悪くなることで、窓口の対応が悪くならないよう留意してください。人への対応は、大切なので無理が生じるようであれば、行わなくてもよいと思います。

(委員) なぜ第2火曜日が、休館日になったのですか。

(事務局) 平成4年に、官公庁や学校の週休2日の導入に合わせて導入しました。

(委員) アンケートで、第2火曜日の休館日が8割の人に認知されているのであれば、あえて開館はしなくてもよいのではないかと思います。人対人のサービスは大切なので、開館日の拡大を行うのであれば、人員を確保し窓口サービスの質が低下しないようにするべきだと思います。

(事務局) 開館日(時間)の拡大は、指定管理になった図書館のほとんどが実施しており、当館でも避けて通れない問題です。

(委員) 経費をかけずに、工夫とやりくりで開館日(時間)の拡大を行うことができるようならお願いしたいと思います。

(会長) この件については、もし開館日(時間)の拡大を行うのであれば、職員体制など十分に配慮を行い、サービスの質を落とさずに実施をするということをお願いしたいと思います。

(会長) 次にインターネット環境の整備と電子書籍

の導入についてです。

(事務局) この件について説明いたします。

【以下、資料「魅力ある図書館をめざして〈2〉」により説明】

(事務局) 補足ですが、来年度から今までになかった人気のある小説などが電子書籍として加わる予定になったことから導入を検討しています。

貸出しなどのしくみは、利用者が電子書籍を保管しているサーバにIDとパスワードでアクセスし、決められた利用期間だけ読むことができるというものです。利用できる人は、半田市民だけで一度に読むことができる人数はライセンスで決まっています。

(会長) これについて、みなさんご意見はありませんか。

(委員) インターネットだけをしに来館する人がいて困らないでしょうか。

(事務局) 制限時間など一定の制限を設ける予定です。

(委員) インターネットの情報をプリントアウトすることができますか。

(事務局) 国の統計などは可能ですが、企業のホームページなどは著作権があり、できないものもあります。

(委員) インターネットができるパソコンやタブレットなどは、誰でも持っており図書館に導入する意味はあるのでしょうか。端末の導入で子どもの図書購入費が減らないようにお願いします。

(館長) 高齢者などでパソコンをお持ちでない方もみえるので、2台程度の設置を考えています。

(委員) 最近、読書の苦手な子どもがタブレットで画像などを見て遊ぶことが多く、紙の本と電子機器のせめぎあいの状況を呈しています。子どものためにも電子書籍の導入は、慎重に行ってほしいと思います。

(会長) 電子書籍が時流であるからすぐ導入する、

また一切否定するというのでもなく、最も大切なことは何か、ということを考えながら導入を進めていただきたいと思います。

(会長) 次に来館が困難な方へのサポートについてです。

(事務局) この件について説明いたします。

【以下、資料「魅力ある図書館をめざして〈3〉」により説明】

(会長) これについて、みなさんご意見はありますか。

(委員) 図書館から離れた有脇地区に住んでいるので、図書を返却するときに児童センターにあるブックポストは、たいへんありがたい。板山など他の地区についても設置の検討をお願いします。

(館長) ブックポストを設置すると24時間いろいろな人が出入りします。また車での利用が前提なので駐車場も必要です。

(委員) 私はブックポストの設置よりも自宅に居ながらにして貸出しもできる電子書籍の導入の方が、来館が困難な方へのサービスとして有効であると思います。

(委員) 高齢者が増えているので、視力が衰えた方でも利用できるものを増やしてはどうでしょうか。

(委員) 本の宅配サービスは、どのようにして利用者が希望の本を選ぶのですか。

(事務局) 電話やファックスで希望の本のタイトルや著者を伝えていただき対応します。

(委員) 神戸公民館の貸出文庫で、遠くに外出できないご高齢の方が、喜んで本を利用されているという例もありました。

(会長) 来館が困難な方へのサポートは、当然必要ですが、現実としてどこまでのことができるのかを考えて進めていっていただきたいと思います。

(会長) 次に IC タグの導入についてです。

(事務局) この件について説明いたします。

【以下、資料「魅力ある図書館をめざして〈4〉」  
により説明】

(教育部長) 新しい図書館を建設したときに専用のカウンターや書庫、館内の設備も含めて導入を行うのが賢明ではないでしょうか。特別委員会からの提言も中長期的な課題としてであり、今すぐ多額の経費をかけて導入をとということではありません。

(館長) 現在の建物でシステムを導入した場合、管理用のゲートを3ヶ所設置する必要があります。

(会長) IC タグの導入は、新館建設に合わせて検討していただきたい。

(会長) 次に郷土資料の活用についてです。

(事務局) この件について説明いたします。

【以下、資料「魅力ある図書館をめざして〈5〉」  
により説明】

(会長) 郷土を知るということは大切なことであり、資料の活用をお願いしたい。

(会長) 次に雑誌スポンサー制度についてです。

(事務局) この件について説明いたします。

【以下、資料「魅力ある図書館をめざして〈6〉」  
により説明】

(教育長) すでに多くの自治体が導入していますが、読書通帳などでスポンサーの金融機関の名前が入ったものを見たことがあります。企業広告ということに、あまりこだわりなければ導入してもよいのではと思います。

(委員) 営業活動を行わないといけませんね。

(会長) そういったことも含めて、進めていってください。

(会長) 次にくつろぎスペースの充実についてです。

(事務局) この件について説明いたします。

【以下、資料「魅力ある図書館をめざして〈7〉」  
により説明】

(館長) 今までは、蔵書数が増える一方でしたが、

開架の書架を減らして閲覧スペースを作ることを検討しています。それには閉架の本の除籍から始めなければなりません。

(事務局) 本のカバーが劣化していて貸出しができない閉架の本から除籍をしています。多くの本を除籍し、棚から抜くと大掛かりに本を移動させる作業も発生します。以前は、あまり閲覧席の利用がなく、平成7年に本棚を増やした方がよいと判断し席を減らしました。

(会長) スペースを作ることは、容易な作業ではありませんが、よく検討して行ってください。

(会長) 次は駐車場の案内表示についてです。

(事務局) この件について説明いたします。

【以下、資料「魅力ある図書館をめざして〈8〉」により説明】

(館長) 日本庭園を通る通路は、舗装がされたことで歩きやすくなりましたが、正面から南側の駐車場への道順がわかりにくいです。

(会長) 改善されるよう進めて行ってください。

(会長) 次は今後の図書館運営についてです。

(事務局) この件について説明いたします。

【以下、資料「魅力ある図書館をめざして〈9〉」により説明】

(会長) 指定管理者は、いろいろな集客のノウハウを持っているようですが、多くの集客があればよい図書館なのか、コスト面だけで運営方法を選んでよいのか考えると直営のままでどうかなと思います。

(委員) 図書館は、入館者だけが多ければよいのではなく、いろいろな細かい対応がきちんとできる図書館であってほしい。現在の運営体制のままで問題はないと思います。

(委員) 郷土の研究をしていて、わからないことがあると図書館が答えてくれるので助かっています。

(委員) 武豊の図書館が指定管理になり、一利用者としてサービスが良くなったと感じています。

	<p>職員の方も親しみやすく、利用者との距離が近いのも好ましく思います。</p> <p>(委員) 最近タウン誌を読んで、半田の図書館にたくさん郷土資料があることを知りました。半田市立図書館の良さを生かして行ってほしいです。</p> <p>(委員) 武豊の図書館は、絵本が出版社別に並んでおりわかりにくく感じました。</p> <p>半田の図書館をすぐ指定管理の図書館にした方がよいとは感じません。</p> <p>カウンターで尋ねると本好きな司書が、いろいろな本を紹介してくれます。そういった人と人との関係も含めて半田の図書館は良い図書館だと思います。</p> <p>(教育部長) 図書館が指定管理になればすべてがよくなるということはありません。もちろん待遇など学ぶべきところもあると思います。直営でもこれだけできるということをアピールして行ってほしいと思います。</p> <p>(教育長) 現在、学校との連携で司書が頻繁にブックトークに出かけており、本好きなこどもが育っています。指定管理で同様のことができるのか不安です。</p> <p>今日は、長時間に渡りありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。</p> <p>(会長) ありがとうございました。</p>
<p>【議題】(3) その他</p>	<p>(事務局) 補正予算について報告があります。</p> <p>大学情報ポスター及び自動販売機の設置による使用料やふるさと納税による寄付があり、計 875,000 円の歳入がありました。これをブックポストの設置や館内の壁紙の張替え、授乳室の整備などの事業に充て利用者サービスの向上を図ります。</p> <p>(事務局) 次回の開催は、10月上旬を予定していますので、日程を調整して連絡させていただきます。これで第2回図書館協議会を終了いたします。ありがとうございました。</p>